

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
交付規程

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) 交付規程

制定 平成26年4月1日

S I I - 2 6 B - 規程 - 0 0 2

改正 平成28年4月1日

S I I - 2 8 B - 規程 - 0 0 6

(通則)

第1条 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)(以下「補助金」という。)の交付については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)、住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱(20130305財資第5号。以下「交付要綱」という。)及びその他の法令の定めによるほか、この規程に定めるところによる。

(目的)

第2条 この規程は、一般社団法人 環境共創イニシアチブ(以下「S I I」という。)が行う、経済産業省からの交付要綱第3条に基づく補助金の交付手続き等を定め、もってその業務の適正かつ確実な処理を図ることを目的とする。

(交付の対象、補助率、補助金の上限額)

第3条 S I Iは、住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)の趣旨に則り、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味でゼロとなる住宅(以下「Z E H」という。)を新築する、あるいは既築住宅をZ E Hへ改修する事業(以下「補助対象事業」という。)を行おうとする者に対し、補助対象事業の実施に必要な経費のうち、補助金交付の対象としてS I Iが認める経費(以下「補助対象経費」という。)について、予算の範囲内で補助金を交付するものとする。

ただし、様式第1交付申請書の別紙による「暴力団排除に関する誓約事項」及び誓約書(以下「誓約事項」という。)に記載されている事項に該当する者が行う事業に対しては、本補助金の交付対象としない。

2 補助対象経費の区分、補助金額及び補助金の上限額は別表のとおりとする。

(交付の申請)

第4条 補助金の交付を受けようとする者(以下「申請者」という。)は様式第1による交付申請書にS I Iが定める書類を添付して、S I Iが別に定める時期までに提出しなければならない。

(交付の決定)

第5条 S I Iは、前条の規定による交付申請書の提出があった場合には、当該申請に係る書類の審査を行い、適正な内容であると認められる場合には、様式第2による交付決定通知書により、その旨を通知するものとする。この場合において、S I Iは、適正な交付を行うため必要があると認めるときは、補助金の交付の申請に係る事項につき修正を加えて交付決定を行うことができるものとする。

2 S I Iは、前項の通知に際して必要な条件を付することができるものとする。

3 S I Iは、補助金の交付が適当でないときは理由を付して、その旨を申請者に通知するものとする。

(申請の取下げ)

第6条 第5条第1号の通知を受けた申請者（以下「補助対象事業者」という。）は、当該通知に係る内容又はこれに付された条件に不服があり、第4条の申請の取下げをしようとするときは、当該通知を受けた日から起算して10日以内に、様式第5による交付申請取下申請書をS I Iに提出し、その承認を得なければならない。

(補助対象事業の完了)

第7条 補助対象事業者は、S I Iが定める期日までに、補助対象事業に係る工事（設備の設置を含む。以下単に「事業」という。）を完了しなければならない。

(計画変更等の承認等)

第8条 補助対象事業者は、交付申請書で提出した事業の内容をやむを得ない理由で変更する必要があるときは、あらかじめ様式第3による計画変更承認申請書をS I Iに提出し、その承認を受けなければならない。

2 S I Iは、前項に基づく計画変更承認申請書を受理したときは、これを審査し、当該申請に係る変更の内容が適正であると認め、これを承認したときは、その旨を通知するものとする。

3 S I Iは、前項の承認に際して必要な条件を付することができるものとする。

(事故の報告)

第9条 補助対象事業者は、補助対象事業が予定の期間内に完了することができないと見込まれる場合又は補助対象事業の遂行が困難となった場合は、速やかに様式第4による事故報告書をS I Iに提出し、その指示に従わなければならない。

(実績の報告)

第10条 補助対象事業者は、工事が完了したときは、完了の日から起算して30日以内又はS I Iが定める期日のいずれか早い日までに、様式第6による補助対象事業実績報告書をS I Iに提出しなければならない。

(補助対象事業の承継)

第11条 S I Iは、補助対象事業者について事業の期間中に、相続等により補助対象事業を行う者が変更される場合において、その変更により事業を承継する者が当該補助事業を継続して実施しようとするときは、様式第10による補助対象事業承継承認申請書を提出させることにより、その者が補助金の交付に係る変更前の補助対象事業を行う者の地位を承継する旨の承認を行うことができる。

(補助金の額の確定等)

第12条 S I Iは、第10条の規定による補助対象事業実績報告書の提出があった場合には、当該報告に係る書類の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、その報告に係る補助対象事業の成果が補助金の交付の決定内容（第8条第1項の規定に基づく承認をしたときは、その承認された内容）及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、補助対象事業者に速やかに通知するものとする。

2 S I Iは、補助対象事業者に交付すべき補助金の額を確定した場合において、既にその額を超える補助金が支払われているときは、期限を付して、その超える部分の補助金の返還を請求するものとする。

3 S I Iは、前項に基づき補助金の返還を請求しようとするときは、次に掲げる事項を、速やかに補助対象事業者に通知するものとする。

- (1) 返還すべき補助金の額
- (2) 延滞金に関する事項
- (3) 納期日

4 S I Iは、補助対象事業者が返還すべき補助金を第3項第3号に規定する納期日までに納付しなかったときは、納期日の翌日から納付の日までの日数に応じ、その未納付額につき年利10.95パーセントの割合で計算した延滞金を徴収するものとする。

(補助金額確定の条件)

第13条 S I Iは、補助金の交付を決定する場合において、次に掲げる事項につき条件を付するものとする。

- (1) 補助金の対象となる工事の内容は、補助対象事業実績報告書に記載されたとおりとする。
- (2) S I Iは、第12条の規定に基づき、提出された補助対象事業実績報告書の内容の審査及び必要に応じて現地調査を実施し、交付すべき補助金の額を確定し、通知する。

(3) 補助対象事業者は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び交付規程の定めるところに従わなければならない。なお、これらの規程に違反する行為がなされた場合、次の措置が講じられ得ることに留意すること。

- ① 適正化法第17条の規定による交付決定の取消し、第18条の規定による補助金等の返還及び第19条第1項の規定による加算金の納付。
- ② 適正化法第29条から第32条までの規定による罰則。
- ③ 相当の期間補助金等の全部又は一部の交付決定を行わないこと。
- ④ S I I の所管する契約について、一定期間指名等の対象外とすること。
- ⑤ 補助対象事業者等の名称及び不正内容の公表。

(4) その他、S I I の付した条件を遵守しなければならない。

(債権譲渡の禁止)

第14条 補助対象事業者は、第5条第1項の規定に基づく交付決定によって生じる権利の全部又は一部をS I I の承諾を得ずに、第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会、資産の流動化に関する法律(平成10年法律第105号)第2条第3項に規定する特定目的会社又は中小企業信用保険法施行令(昭和25年政令第350号)第1条の3に規定する金融機関に対して債権を譲渡する場合にあっては、この限りでない。

2 S I I が第12条第1項の規定に基づく確定を行った後、補助対象事業者が前項ただし書に基づいて債権の譲渡を行い、補助対象事業者がS I I に対し、民法(明治29年法律第89条)第467条又は動産及び債権の譲渡の対抗要件に関する民法の特例等に関する法律(平成10年法律第104号。以下「債権譲渡特例法」という。)第4条第2項に規定する通知又は承諾の依頼を行う場合には、S I I は次の各号に掲げる事項を主張する権利を保留し又は次の各号に掲げる異議を留めるものとする。また、補助対象事業者から債権を譲り受けた者がS I I に対し、債権譲渡特例法第4条第2項に規定する通知若しくは民法第467条又は債権譲渡特例法第4条第2項に規定する承諾の依頼を行う場合についても同様とする。

- (1) S I I は、補助対象事業者に対して有する請求債権については、譲渡対象債権金額と相殺し、又は、譲渡債権金額を軽減する権利を保留する。
 - (2) 債権を譲り受けた者は、譲渡対象債権を前項ただし書に掲げる者以外への譲渡又はこれへの質権の設定その他債権の帰属並びに行使を害すべきことを行わないこと。
 - (3) S I I は、補助対象事業者による債権譲渡後も、補助対象事業者との協議により、補助金の額その他の交付決定の変更を行うことがある。この場合、債権を譲り受けた者は異議を申し立てず、当該交付決定の内容の変更により、譲渡対象債権の内容に影響が及ぶ場合の対応については、専ら補助対象事業者と債権を譲り受けた者の間の協議により決定されなければならない。
- 3 第1項ただし書に基づいて補助対象事業者が第三者に債権の譲渡を行った場合においては、S I I が行う弁済の効力は、S I I 事務局長が支出の決定を行ったときに生ずるものとする。

(補助金の支払)

第15条 S I Iは、第12条第1項の規定により交付すべき補助金の額を確定した後に補助金を支払うものとする。

(状況の報告)

第16条 補助対象事業者は、事業完了後3年間、当該補助金により取得した設備及び住宅（以下「取得財産」という。）の性能等に関して、S I Iが別に指定する定期報告書をS I Iに提出しなければならない。

2 補助対象事業者は、前項の定期報告を停止するときは、様式第8による定期報告停止申請書によってS I Iに報告し、その承認を受けなければならない。

(手続)

第17条 補助対象事業者は、第4条の交付申請書、第6条の交付申請取下申請書、第8条第1項の計画変更承認申請書、第9条の事故報告書、及び第10条の補助対象事業実績報告書の手続の代行を、第三者（以下「手続代行者」という。）に対し依頼することができる。

2 手続代行者は、依頼された手続きについて誠意をもって実施するものとする。

3 補助対象事業者及び手続代行者は、S I Iに提出する書類には、如何なる理由があってもその内容に虚偽の記述を行ってはならない。

4 S I Iは、補助対象事業者及び手続代行者が虚偽その他の不正の手段により手続を行った疑いがある場合は、必要に応じて調査を実施し、不正行為が認められたときは、交付決定により得た権利の失効、及び交付申請の却下を行うことができるものとする。この場合において、S I Iは、S I Iの所管事業の全部又は一部について一定期間指名等の対象外とすること、並びに補助対象事業者の名称、当該手続代行者の名称及び不正の内容を公表することができるものとする。

(協力)

第18条 S I Iは、補助対象事業の適正かつ円滑な運営を図るため、必要があるときは補助対象事業者及び手続代行者に対し、協力を求めることができるものとする。

(交付決定の取消し等)

第19条 S I Iは、第16条第2項の定期報告の停止の承認、又は次の各号のいずれかに該当する場合は第5条第1項の規定による補助金の交付の決定の全部若しくは一部を取消し、又は交付の決定の内容若しくはこれに付した条件を変更することができるものとする。

(1) 補助対象事業者が法令若しくは本規程に基づくS I Iの処分又は指示に違反した場合。

(2) 補助対象事業者が補助金を補助対象事業以外の用途に使用した場合。

- (3) 補助対象事業者が補助対象事業等に関して不正、怠慢その他不適當な行為をした場合。
 - (4) 前各号に掲げる場合のほか、交付の決定後に生じた事情の変更により、補助対象事業の全部又は一部を継続する必要がなくなった場合。
 - (5) 補助対象事業者が、誓約事項に違反した場合。
- 2 前項の規定は、第12条に規定する補助金の額の確定があった後においても適用があるものとする。
 - 3 S I I は、第1項に基づく取消し又は変更をしたときは、速やかに補助対象事業者に通知するものとする。
 - 4 S I I は、第1項の規定による取消しをした場合において、その取消しに係る部分に関して既に補助金が交付されているときは、期限内に当該補助金の全部又は一部の返還を請求するものとする。
 - 5 S I I は、前項の返還を請求するときは、第1項第4号に規定する場合を除き、当該補助金の受領の日から納付の日までの日数に応じて、当該補助金の額（その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納付額を控除した額）につき年利10.95%の割合で計算した加算金を併せて当該補助対象事業者から徴収するものとする。
 - 6 第4項の補助金の返還期限は、当該請求のなされた日から20日以内とし、期限内に納付がない場合は、未納に係る額に対して、その未納に係る期間に応じて年利10.95%の割合で計算した延滞金を徴収するものとする。

(加算金の計算)

第20条 S I I は、加算金を徴収する場合において、補助対象事業者の納付した金額が返還を請求した補助金の額に達するまでは、その納付金額は、まず当該返還を請求した補助金の額に充てるものとする。

(延滞金の計算)

第21条 S I I は、延滞金を徴収する場合において、返還を請求した補助金の未納付額の一部が納付されたときは、当該未納付金からその納付金額を控除した額を基礎として当該納付の日の翌日以後の期間に係る延滞金の計算をするものとする。

2 前条の規定は、前項の延滞金を徴収する場合に準用する。

(取得財産の管理等)

第22条 補助対象事業者は、補助対象事業の完了後においても、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図らなければならない。

2 S I I は、補助対象事業者が取得財産を処分することにより、収入があり又は収入があると認められるときは、その収入の全部又は一部をS I I に納付させることができるものとする。

(財産処分の制限等)

第23条 取得財産のうち、処分を制限する財産は、取得価格又は効用の増加価格が単価50万円以上の機械、器具、備品その他の財産とする。

2 取得財産の処分を制限する期間は、補助金の交付の目的及び減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）に定める耐用年数を勘案して、S I Iが別に定める期間とする。

3 補助対象事業者は、前項の規定により定められた期間内において、処分を制限された取得財産を処分しようとするときは、あらかじめ様式第9による財産処分申請書をS I Iに提出し、その承認を受けなければならない。

4 S I Iは、前項の承認をする場合においては、必要な条件を付することができるものとする。

5 前条第2項の規定は、第3項の承認をする場合において準用する。

6 第2項の規定により定められた期間を経過した取得財産を処分することにより補助対象事業者が得た収入については、前条第2項の規定は適用しない。

(暴力団排除に関する誓約)

第24条 補助対象事業者は、誓約事項について補助金の交付申請前に確認しなければならず、交付申請書の提出をもってこれに同意したものとする。

(その他の必要な事項)

第25条 S I Iは、本事業の実施に当たって、補助対象事業者から提出され、または知り得た営業秘密について、他用途転用の禁止等の営業秘密を管理する責務を負うものとする。この場合、当該事業に関する業務に従事する職員及びS I Iが業務契約等を締結するすべての者（第三者委員会の委員等を含む）に対して守秘義務・情報漏洩に対する契約を締結するものとする。

2 この規程に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項はS I Iが別に定める。

附 則

この規程は、経済産業大臣が承認した日から施行する。

(別表)

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）補助対象経費の区分、補助金額及び補助金の上限額

補助対象経費の区分		内容	補助金額及び補助金の上限額
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス	設備費	補助対象事業の実施に必要な設備、建築材料の購入に要する費用 但し、蓄電システムを除く	定額 (125万円) 但し、寒冷地特別外皮強化仕様の住宅の場合は150万円、寒冷地特別外皮強化仕様で設計一次エネルギー消費量が、再生可能エネルギーを加えて、基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満削減する住宅は125万円
	工事費	補助対象事業の実施に不可欠な工事に要する経費 但し、蓄電システムを除く	
蓄電システム	設備費	蓄電システムの購入費用	蓄電容量1kWh当たり5万円 但し、補助対象経費の1/3または50万円のいずれか低い金額を上限とする
	工事費	蓄電システムの導入に不可欠な工事や据え付けに要する費用	

※申請代行手数料・消費税は、補助対象としない。

※寒冷地特別外皮強化仕様とは「1, 2地域において外皮平均熱貫流率(UA)値0.25以下の仕様を指す。

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

申請者	郵便番号 住 所 ふりがな 氏 名 生年月日 電話番号	年 月 日	実印
共同申請者 (リース業者等)	郵便番号 住 所 会 社 名 支 店 名 代表者名等		登録印
手続代行者	郵便番号 住 所 会 社 名 支 店 名 代表者名等		登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
交付申請書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)交付規程(SII-26B-規程-002)(以下「交付規程」という。)第4条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る交付の申請をします。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び交付規程の定めるところに従うことを承知の上、申請します。

記

申請者	
手続代行会社名	
支店名	

1. ZEHビルダー情報

ZEHビルダー登録番号		グループ番号	
ZEHビルダー登録名称			

2. 申請する住宅の概要

建設予定地	〒		-		募集次区分		エネルギー計算の算定方法	
	都道府県		市区町村					
建築区分		地域区分		年間日射地域区分		断熱性能 [※]	W/m ² ・K	
省エネ性能表示取得による評価加点		エネルギー計画装置評価加点				<small>※外皮平均熱貫流率 (UA値：小数点第二位まで、第三位以下切り上げ) を記入してください。</small>		

3. 事業予定期間

着手予定日	平成	年	月	日	完了予定日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---	-------	----	---	---	---

※建売の場合は、着手予定日は記入不要。完了予定日は引渡予定日を記入すること。

4. 補助金交付申請予定額

費用総括表より転記

	円
--	---

5. 暴力団排除に関する誓約事項 (別紙1)

3/5に記載の暴力団排除に関する誓約事項について熟読し、理解の上、これに同意します。

6. 交付申請に関する誓約書 (別紙3)

4/5に記載の交付申請に関する誓約事項について熟読し、理解の上、これに同意します。

7. 共同申請者 (リース業者等) (問合せ等で確実に対応できる実務担当者の連絡先を記入すること)

会社名					支店名			
所属					担当者氏名			
住所	〒		-		都道府県	市区町村		
電話番号					FAX番号			
携帯電話番号								
E-MAIL								

8. 手続代行担当者 (問合せ等で確実に対応できる実務担当者の連絡先を記入すること)

会社名					支店名			
所属					担当者氏名			
住所	〒		-		都道府県	市区町村		
電話番号					FAX番号			
携帯電話番号								
E-MAIL								

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金 (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味 (ネット) でゼロとなることを目指した住宅を導入 (新築建売住宅の場合は購入) しようとする方に交付するものです。

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、補助金の交付の申請をするに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき

以上

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

代表 理 事

殿

平成 年度住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)

誓約書

私は、補助金の交付の申請を一般社団法人環境共創イニシアチブ（以下「SII」という。）に提出するに当たって、また、補助対象事業の実施期間内及び完了後においては、下記の事項について誓約いたします。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、一切異議は申し立てません。

1. 交付申請
本事業の交付規程及び公募要領の内容を全て承知の上で、手続代行者の役割及び要件等について確認し、了承している。
2. 暴力団排除
暴力団排除に関する誓約事項について熟読し、理解の上、これに同意している。
3. 交付決定前の事業着手の禁止
交付決定通知書を受領する前に本事業に着手した場合には、補助金の交付対象とならないことを了承している。
4. 重複申請の禁止
他の国庫補助金等を重複して受給してはならないことを理解している。
5. 申請の無効
申請書及び添付書類一式について責任をもち、虚偽、不正の記入が一切ないことを確認している。
万が一、違反する行為が発生した場合は、罰則等を理解し、了承している。
6. 個人情報の利用
SII が取得した個人情報等については、申請に係る事務処理に利用する他、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づいた上で、SII が開催するセミナー、シンポジウム、本事業の効果検証のための調査・分析、SII が作成するパンフレット・事例集、国が行うその他調査業務等に利用されることがあり、その場合、国が指定する外部機関に個人情報等が提供されることに同意している。
また、本事業が、同一の設備等に対し、国から他の補助金を受けていないかを調査するために利用されることに同意している。
7. 申請内容の変更及び取下げ
申請書の提出後に申請内容に変更が発生した場合には、SII に速やかに報告することを了承している。
万が一、違反する行為が発生した場合は、SII の指示に従い申請書の取下げを行うことに同意している。
8. 現地調査等の協力
補助対象事業が事業の目的に適切に公正に実施されているかを判断するための現地調査等に協力することを了承している。
9. 事業の不履行等
申請者、手続代行者が SII に連絡することを怠ったことにより、事業の不履行等が生じ審査が継続できないと SII が判断した場合は、当該申請者の申請及び登録を無効とすることができることを理解し、了承している。
10. 免責
SII は、ZEHビルダーと手続代行者、補助対象事業者、その他の者との間に生じるトラブルや損害について、一切の関与・責任を負わないことを理解し、了承している。
11. 事業の内容変更、終了
SII は、国との協議に基づき、本事業を終了、又はその制度内容の変更を行うことができることを承知している。

上記を誓約し、申請内容に間違いがないことを確認した上で署名・捺印します。

平成 年 月 日

申請者氏名

実印

申請者本人が署名し実印を捺印すること。（手続代行者の代筆は不可）

共同申請者 会社名

登録印

共同申請者 代表者名等

登録印

手続代行者 会社名

登録印

手続代行者 代表者名等

登録印

平成 年 月 日
一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) 交付決定通知書

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) 交付申請書については、住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) 交付規程(S I I-26B-規程-002)(以下「交付規程」という。)第5条第1項の規定に基づき受理し、交付を決定しましたので通知します。また、交付規程様式第1 別紙1「暴力団排除に関する誓約事項」及び別紙3「誓約書」に記載されている事項に該当する者が行う事業に対しては、本補助金の交付対象とはせず、誓約事項に違反した場合は、交付決定を取り消すものとします。

記

交付決定番号 _____
交付決定日 平成 年 月 日
交付決定通知が手元に届いてから事業に着手すること。

補助金交付申請予定額
(記載された金額が上限。) _____円

※但し、定額以外の要素で減額が正じる場合があります。

再生可能エネルギーを除く一次エネルギー消費削減率
(数値が下がる変更は一切認めません。) _____%

補助対象事業完了日 平成 年 月 日
上記期限までに事業完了が出来ない場合は交付決定を取消すものとします。

評価加点申請を行った申請者について

加点要件が確認できない場合は、交付決定を取消すものとします。

以上

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

代表理事

殿

申請者

郵便番号

住所

ふりがな

氏名

電話番号

実印

共同申請者

(リース業者等)

郵便番号

住所

会社名

支店名

代表者名等

登録印

手続代行者

郵便番号

住所

会社名

支店名

代表者名等

登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)

計画変更承認申請書

平成 年 月 日付をもって交付決定のあった経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助事業を下記のとおり変更したいので、住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）交付規程第8条第1項の規定に基づき、計画変更の承認を得たく申請します。

1. 事業内容の変更

申請時の事業内容	変更後の事業内容

2. 変更の理由

--

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなることを目指した住宅を導入（新築建売住宅の場合は購入）しようとする方に交付するものです。

様式第4（事故報告書）

交付番号 SII28 -ZH- -K
平成 年 月 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

申請者	郵便番号 住所 ふりがな 氏名 電話番号	実印
共同申請者 (リース業者等)	郵便番号 住所 会社名 支店名 代表者名等	登録印
手続代行者	郵便番号 住所 会社名 支店名 代表者名等	登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
事故報告書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）交付規程（SII-26B-規程-002）第9条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助対象事業の事故について報告します。

1. 事故の原因及び内容

2. 事故に対して行った処置

3. 事業完了予定日

申請時の 事業完了予定日	平成 年 月 日	事業完了予定日	平成 年 月 日
-----------------	----------	---------	----------

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなることを目指した住宅を導入（新築建売住宅の場合は購入）しようとする方に交付するものです。

様式第5 (交付申請取下申請書)

交付番号 SII28 -ZH- -K
平成 年 月 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

申請者	郵便番号 住所 ふりがな 氏名 電話番号	実印
共同申請者 (リース業者等)	郵便番号 住所 会社名 支店名 代表者名等	登録印
手続代行者	郵便番号 住所 会社名 支店名 代表者名等	登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
交付申請取下申請書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)交付規程(SII-26B-規程-002)第6条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る交付申請の取下を申請します。

1. 補助金申請予定額(交付決定通知に記載されている金額を記入すること)

円

2. 取下の理由

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなることを目指した住宅を導入(新築建売住宅の場合は購入)しようとする方に交付するものです。

様式第6 (補助対象事業実績報告書)

交付番号

SII28

-ZH-

-K

平成

年

月

日

(1/3枚)

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

代表理事

殿

申請者

郵便番号

住所

ふりがな

氏名

電話番号

実
印

共同申請者

郵便番号

(リース業者等)

住所

会社名

支店名

代表者名等

登
録
印

手続代行者

郵便番号

住所

会社名

支店名

代表者名等

登
録
印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金

(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)

補助対象事業実績報告書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)交付規程(SII-26B-規程-002)(以下「交付規程」という。)第10条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助対象事業の完了を報告するとともに補助金の交付を申請します。

1. 補助対象事業者情報 (1枚目の補助対象事業者より転記されます)

交付番号	
ふりがな	
氏名	

2 ZEH.ビルダー情報

ZEHビルダー登録番号		グループ番号	
ZEHビルダー登録名称			

3. 事業期間

事業着手日	平成	年	月	日	事業完了日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---	-------	----	---	---	---

4. 補助金交付申請額

ZEHに係る補助金交付申請額・・・・・・・・・・①		円
蓄電システムに係る補助金交付申請額・・・・・・・・・・②		円
リース業者による蓄電システムに係る補助金交付申請額・・・・・・・・③		円
補助金交付申請額の合計・・・・・・・・・・①+② 共同申請者(リース業者等)がいる場合は①+③		円

5. 補助対象事業者への支払金額

	円
--	---

6. 補助金の振込先 (上記に記載された補助対象事業者と同一名義であること)

金融機関コード				金融機関名			
支店コード				支店名			
預金の種類 (該当するものに■をつけること)						口座名義人 (カタカナで記入すること)	
<input type="checkbox"/>	普通	<input type="checkbox"/>	貯蓄	<input type="checkbox"/>	その他 ()		

7. 手続代行担当者 (問合せ等で確実に対応できる実務担当者の連絡先を記入すること)

会社名					支店名			
所属					担当者氏名			
住所	〒		-		都道府県	市区町村		
電話番号					FAX番号			
携帯電話番号								
E-MAIL	@							

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなることを目指した住宅を導入(新築建売住宅の場合は購入)しようとする方に交付するものです。

1. 補助対象事業者情報 (1枚目の補助対象事業者より転記されます)

交付番号	
ふりがな	
氏名	

2. 共同申請者 (リース業者等) (問合せ等で確実に対応できる実務担当者の連絡先を記入すること)

会社名				支店名	
所属				担当者氏名	
住所	〒		-	都道府県	市区町村
電話番号				FAX番号	
携帯電話番号					
E-MAIL	@				

3. 共同申請者 (リース業者等) への支払金額

	円
--	---

4 共同申請者 (.リース業者等) の振込先

金融機関コード			金融機関名		
支店コード			支店名		
預金の種類 (該当するものに■をつけること)					
<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> その他 ()					
口座名義人 (カタカナで記入すること。省略文字が使われている場合は、通帳等に記載されている通りに記入してください。)					

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金 (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業) は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味 (ネット) でゼロとなることを目指した住宅を導入 (新築建売住宅の場合は購入) しようとする方に交付するものです。

平成 年 月 日
一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）
補助金確定通知書

平成 年 月 日付けをもって申請があった住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）交付規程（S I I - 2 6 B - 規程 - 0 0 2）（以下「交付規程」という。）第12条第1項の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金を付することに決定したので通知します。

記

確定番号

補助金交付申請確定額

円

- 補助金の対象となる事業の内容は、補助対象事業実績報告書に記載されたとおりとする。
- 一般社団法人 環境共創イニシアチブは、交付規程第12条の規定に基づき、提出された補助対象事業実績報告書の内容の審査及び必要に応じて現地調査を実施し、交付すべき補助金の額を確定し通知する。
- 補助対象事業者は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号。以下「適正化法」という。)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び交付規程の定めるところに従わなければならない。なお、これらの規定に違反する行為がなされた場合、次の措置が講じられ得ることに留意すること。

- (1) 適正化法第29条から第32条までの規定による罰則。
- (2) 相当の期間補助金等の全部又は一部の交付を行わないこと。
- (3) 一般社団法人 環境共創イニシアチブの所管する契約について、一定期間指名等の対象外とすること。
- (4) 補助対象事業者等の名称及び不正内容の公表

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業）は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなることを目指した住宅を導入（新築建売住宅の場合は購入）しようとする方に交付するものです。

様式第8 (定期報告停止申請書)

確定番号 SII28 -ZH- -K
平成 年 月 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

補助対象事業者 郵便番号
住所
ふりがな
氏名
電話番号

実印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
定期報告停止申請書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)交付規程(SII-26B-規程-002)第16条第2項の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助対象事業の定期報告停止の届出を申請します。

1. 報告停止期間

平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで

2. 報告停止の理由

3. 今後の見込み

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなることを目指した住宅を導入(新築建売住宅の場合は購入)しようとする方に交付するものです。

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

補助対象事業者
郵便番号
住所
ふりがな
氏名
電話番号

実印

共同申請者
(リース業者等)
郵便番号
住所
会社名
支店名
代表者名等

登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
財産処分申請書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)交付規程(SII-26B-規程-002)第23条第3項の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る財産処分の届出を申請します。

1. 処分方法 (該当する項目を○で囲むこと)

売却	譲渡	交換	貸与	廃棄	※その他
----	----	----	----	----	------

※その他の場合は下記に具体的な内容を記入すること

[Empty box for additional disposal method details]

2. 処分の予定期日

平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで

3. 処分の理由

[Empty box for disposal reason]

4. 処分の条件 (処分することにより収入がある場合には、その金額も記入すること。)

[Empty box for disposal conditions]

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなることを目指した住宅を導入(新築建売住宅の場合は購入)しようとする方に交付するものです。

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 殿

補助対象事業者
郵便番号
住所
フリガナ
氏名
電話番号

実印

共同申請者
(リース業者等)
郵便番号
住所
会社名
支店名
代表者名等

登録印

平成 年度 住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)
補助対象事業承継承認申請書

住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)(補正予算に係るもの)交付規程(SII-26B-規程-002)第11条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助対象事業の承継承認の届出を申請します。

1. 旧補助対象事業者
郵便番号
住所
フリガナ
氏名
電話番号
2. 新補助対象事業者
郵便番号
住所
フリガナ
氏名
電話番号

実印

実印

3. 補助対象事業者の地位を承継する理由

4. 補助対象事業者の地位を継承する予定日
日付 平成 年 月 日

5. 添付資料

- ①承継の概要
②補助対象事業誓約書

(備考) 用紙は日本工業規格A4とし、縦位置とする。

一般社団法人 環境共創イニシアチブが執行する住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業)は、経済産業省が定めた住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金交付要綱第3条に基づき、当法人に交付される国庫補助金から、新築及び既築住宅に、高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなることを目指した住宅を導入(新築建売住宅の場合は購入)しようとする方に交付するものです。